

Oliver Cann, Director, Media Relations, Tel: +41 79 799 3405; Email: Oliver.Cann@weforum.org

日本の旅行・観光競争力はアジア第1位

- 世界経済フォーラムの旅行・観光競争力指数 (TTCI) 2015 で、日本は、文化資源、健全なインフラ、世界トップクラスのデジタル経済が評価されての第9位。
- 2015 年度のレポートでは、スペインが初めて世界第1位。アジア地域の9の国と経済体が上位50位までに入り、中国は第17位だった。
- 旅行および観光産業の形成に、ICT (情報通信技術) および開発途上国や新興経済国からの新中産階級の影響が強まる。
- レポートの全文、ハイライト、サマリー、プロフィール、ランキングは[こちら](#)からダウンロードできます。

2015年5月6日、スイス、ジュネーブ – 世界経済フォーラムが発表した2015年度の旅行・観光競争力指数によると、日本は、旅行・観光産業の競争力がアジアで最も高い国になりました。旅行・観光競争力指数は、141カ国について、持続可能な旅行・観光産業を通じて、経済や社会に利益をもたらす能力を測定するものです。アジア地域では、日本のほかにシンガポール (11位)、中国 (17位)、マレーシア (25位)、タイ (35位)、インドネシア (50位) など8カ国が50位以内に入りました。

日本の競争力指数は第9位で、上位には主要な観光目的地であるオーストラリア (7位) やイタリア (8位) がランクインしています。日本が優れた結果を残せたのは、十分に発展したデジタル経済によるところが大きいと言えます。そのおかげで日本は、豊かな文化資源を海外にアピールできただけでなく、文化やエンターテインメントに関してオンラインで頻繁に検索される国となりました。

日本が、観光目的地として昔から有名なスペイン、フランス、ドイツ、米国、英国、スイス、オーストラリア、イタリア、カナダとともにトップ10に加わった一方で、これらの経済先進国と新興市場との間の競争力の差も縮まりつつあります。東アジアは世界でも特に活気あふれる観光スポットとなっていますが、これは、この地域からの国際到着便と中産階級の旅行者の数が増加していることからうかがえます。また東南アジアも、2013年から14年の期間で最も多くの旅行者が訪れた地域の一つとなりました。

この地域の内外からの需要の高まりにつれて、旅行や観光が社会や経済に及ぼす効果を推進させるため、デジタルと物理的なインフラの開発が依然として必要な国が数多くあることがレポートに示されています。それと共に、観光志向の国や地域が、変化する市場力学により良く適応できると思われる分野についても明確にされており、例としてモバイルインターネットの急速な普及に対応するため、旅行を選択、計画、検討する上での手段としてのオンラインサービスの採用などが挙げられています。またレポートの中では、さらなる環境保全対策を行うことで、将来的に競争力を確保し得る国が数多くあることも明らかになりました。しかしこの点については、タイ (116位)、フィリピン (122位)、ベトナム (132位)、インドネシア (134位)、中国 (137位) などの国で遅れが見られます。

世界経済フォーラムのエコノミストであるロベルト・クロッチェ (Roberto Crotti) は次のように語っています。「旅行者は、目的地を決める際に、環境問題に対してますます敏感になっています。そしてまた、メディアやインターネットの普及により、以前よりも多くの情報を得られるようになりました。それでも多くの国では、環境保護や、ICT (情報通信技術) 準備度や、文化遺産のさらなる振興など、旅行や観光に関する課題に取り組むために、まだできることがあると思います。そうすることで、更なる競争力の増加や雇用の拡大へとつながっていくと思います」

旅行・観光競争力レポートでは、141カ国を対象に、14の項目について順位付けを行なうとともに、各国の競争力について長所と短所を知る指針となる詳細なプロフィールが示されています。また、指数の計算に際して使用した経済指標を含むデータ一覧を詳細に示したセクションが設けてあります。

世界経済フォーラムは、Strategy&と、データパートナーである、ブルーム コンサルティング (Bloom consulting)、デロイト (Deloitte)、国際航空運送協会 (IATA)、国際自然保護連合 (IUCN)、国連世界観光機関 (UNWTO)、世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC) との協力によりこのレポートを作成しました。

旅行・観光競争力 レポート 2015

アジア太平洋地域で 特に観光競争力の高い 国と地域トップ10

2015年 度順位	国と地域
7	オーストラリア
9	日本
11	シンガポール
13	香港特別自治区
16	ニュージーランド
17	中国
25	マレーシア
29	大韓民国
32	台湾
35	タイ

世界全体のトップ5

1	スペイン
2	フランス
3	ドイツ
4	アメリカ
5	英国

編集注記：

レポート全文とマルチメディア資産のダウンロード：<http://wef.ch/ttcr15>

世界経済フォーラムのインタラクティブなヒートマップで各国のランキングを見る：<http://wef.ch/ttcr15map>

世界経済フォーラム・ラテンアメリカ会議 2015 をフォローする：<http://wef.ch/latam15>

Flickr でフォーラムのベストショットを見る：<http://wef.ch/pix>

フェイスブックでフォーラムのファンになる：<http://wef.ch/facebook>

ツイッターでフォーラムをフォローする：<http://wef.ch/twitter> および <http://wef.ch/livetweet>

Google+ でフォーラムをフォローする：<http://wef.ch/gplus>

フォーラムの**ブログ（英語）**を読む：<http://wef.ch/agenda>

フォーラムの**ブログ（スペイン語）**を読む：<http://wef.ch/agendaes>

フォーラムの**最新イベント**を見る：<http://wef.ch/events>

フォーラムの**ニュースリリース**を定期購読する：<http://wef.ch/news>

世界経済フォーラム（World Economic Forum）は、グローバル・シチズンシップの精神に則り、パブリック・プライベート両セクターの協力を通じて、世界情勢の改善に取り組む国際機関です。ビジネス界、政界、学界および社会におけるその他のリーダーと連携し、世界・地域・産業のアジェンダを形成します。1971年にスイスのジュネーブに本部を置く非営利財団として設立された世界経済フォーラムは、いずれの利害関係にも関与しない独立・公正な組織です。あらゆる主要国際機関と緊密に連携して活動しています。（www.weforum.org）



World Economic Forum, 91-93 route de la Capite, CH-1223 Cologny/Geneva
Tel. +41 (0)22 869 1212, Fax +41 (0)22 786 2744, <http://www.weforum.org>

世界経済フォーラムからのニュースリリースの配信停止をご希望の場合は、[こちら](#)をクリックしてください。